

まちがいがし

クイズ

上下の絵を見くらべて、まちがいを8カ所見つけてね。全問正解された方のうち、抽選で10人の方に図書カードもしくはラブーナの湯無料利用券をプレゼントします。

応募方法

11月15日金

企画広報課 ☎66♦1145

応募方法

ハガキまたはファクスに、①答え(左の絵に○をつける)と②住所・③氏名(ふりがな)・④年齢・⑤電話番号・⑥広報紙の感想、ご意見などを書いて応募してください。なお、当選者のお名前を広報がまごおり1月号に掲載しますので、ご了承ください。

送り先

〒443-8601 旭町17番1号
企画広報課「クイズ」係
FAX66♦1190

山本君、戦国時代をゆく(神ノ郷町)

目が覚めると、中学生の山本君はいつもと違う部屋にいることに気がついた。ケータイもLEDもない、あるものと言えは、棒の先の皿にろうそくの燃えカスが残っている物だけだ。ガラス戸は障子に、羽根布団はせんべい布団に変わっていた。自分は、着物でちよんまげじゃん！その時、向こうから足音が聞こえてきた。足音は部屋の前で止まった。

「山本殿、御免障子が開く、侍だ！」

「山本殿、おられたのか。殿がお呼びじゃ、早く着替えて殿の部屋へおいでなされ」

「殿というのは鶴殿(うどの)の殿様に違いない。僕は鶴殿の重臣だった先祖と入れ替わったんだ。ここは、上ノ郷城だ！」

山本君は城の中心にある殿の部屋へ向かった。城は大きくないが濠(ほり)があり、ちよんまげやそつとはおちない強固なものだ。

上ノ郷城主鶴殿長照(ながてる)は身支度を終え、すべてを覚悟し、静かに座っていた。

「山本。岡崎の元康(家康)のことはお呼びも知っておるじゃろう。大将(今川義元)が生きておられたうちは、わしと同じように今川方だったのだが、大将が桶狭間で亡くなると、元康は今川方を裏切り三河統一に乗り出し、次々に三河の武将たちを自分の支配下にしておる。わしと異父兄弟の竹谷松平、同族の相原・不相・下ノ郷までも元康に還返ってしまった！」

山本君は蒲郡の歴史の授業で疑問に思っていたことを、本人に思い切って聞いてみた。

「そして殿は元康方につかないのですか？」

「そなた、わしをからかっているのか？わしの母は前大将(今川義元)の妹、氏真様(うじまね)の義元の子とは従兄の關係、それだけに上ノ郷は西の要として重く見られておる。山本、まさか忘れられたではあるまい！」

「ははは」

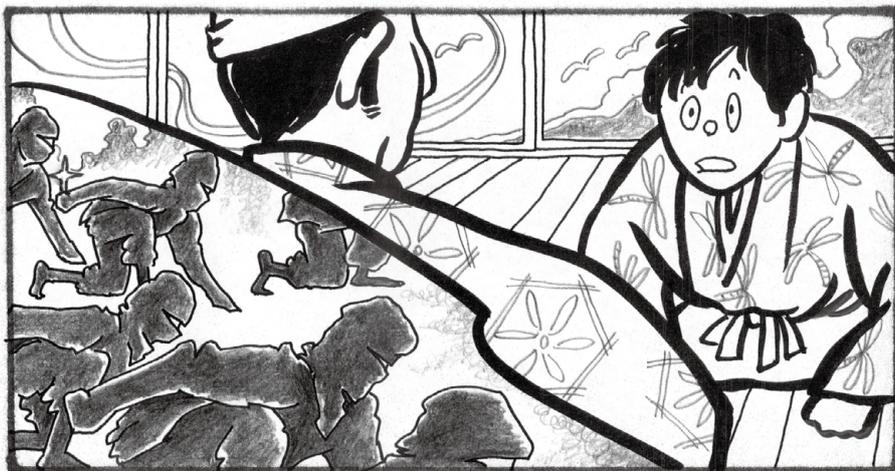
「竹谷松平の攻撃は持ちこたえたが、いよいよ元康が攻めてくる。この長照も覚悟を決めておる。今川西方第一陣の守りとしてその武勇を岡崎に見せようぞ。元康は今川方における自分の家族と、人質交換の相手として我が母と我が息子たちを想定し、何としても無傷で生け捕ることを考えておる。わしは患者として死ぬうとも、鶴殿の家を残していこうが第一なのじゃ！」

「ははあ、うたったのか、長照さんって城主としてすごい人だったんだなあ……」山本君は長照を見つめた。

この日は無月の闇夜、上ノ郷城に数十人の甲賀忍者が音もなく忍び寄っていた。

上ノ郷城に火が放たれ、元康軍は稀少な伝来の鉄砲まで使用した。1562年2月4日長照は討ち死に、上ノ郷城は落城した。その後長照の息子たちは、徳川家、深溝松平家に仕えた。

(参考資料)
昭和56年中部中学校2年社会科学習生徒作品「歴史への旅創作物語」岩瀬正和著
「上ノ郷城跡」蒲郡市博物館
「三州上ノ郷城物語」著者・小林林之助



9月号の答え

9月号クイズまちがいがし(北向き地蔵さんの当選者応募総数79通 正解者64人)
当選者(敬称略・50音順)
水竹町 青山清和
一色町 市川松蔵
西浦町 壁谷孝志
中央本町 鈴木美恵子
三谷町 竹内恵子
鹿島町 中道千恵子
元町 伴 貴子
大塚町 松井たみ子
緑町 松下利雄
大塚町 松宮美紀
おめでとーございませう。賞品は11月初旬に発送します。

